

企業・職場給食と協働した食育普及活動

- 岐阜県では、第2次岐阜県食育推進基本計画において食生活の課題の多い「青年期層(16～39歳)」を重点とし、食育を推進している。
- 企業の健康管理部門と給食部門が協働して食育を推進できる場の設定を行い、従業員への食育事業への支援や情報交換を実施した。
- 職場及び職場給食における食育の重要性や日本型食生活の実践に向け普及した。

岐阜県



【取組の内容】

○企業職場食堂を活用した食育普及展示や体験コーナーの設置

【実施主体】保健所(県下7カ所)

【内容】

〈食育展示〉

- ・自分に見合った食事量や野菜の適正な摂取量について
- ・食事バランスガイドの普及 等

〈体験コーナー〉

- ・野菜の計量
- ・ごはんの計量
- ・メタボメジャーによる計測等



○企業職場給食と協働した食育・健康づくり担当者会議の実施

【内容】

- ・健康管理部門と栄養管理部門での取組みの情報提供
- ・事例発表「健康管理部門と栄養管理部門が連携した取組み」
- ・情報交換会「社員食堂－従業員の健康維持・増進に寄与する場－の認識を高めるためにできること」

実績: 14回、1440人(10企業)にて実施

【取組の成果】

食育の機会の得られにくい働き盛り世代に対し、健康管理部門と給食部門との協働による食育が実施され、ヘルシーメニューの提供など健康に配慮した職場給食が提供されるよう啓発することができた。

日本型食生活実践度調査結果

- 調査対象: 平成27年県政モニター485人(男性45.4%、女性54.5%、無回答0.3%)
- 調査方法: 郵送及びインターネット
- 回収結果: 399人(回収率: 82.3%)

問 あなたは、主食、主菜、副菜を基本にバランスのとれた食生活を送っていますか。

	人数	割合
よくできている (1日2食以上)	161人	40.4%
できていることがある (1日1食程度)	188人	47.1%
ほとんどできていない (1週間に数食程度)	42人	10.5%
まったくしていない	8人	2.0%

